

クラリネット／
樋口 杏奈

ピアノ／永田 美香子

ピアノ／石川 奈々歩

第14回 新進演奏家 コンサート

2026 9/29 火 18:00〈開場〉
18:45〈開演〉

全自由席

入場料 1,000円

※未就学児のお子さまの同伴・入場はご遠慮ください。

プログラム

モーツァルト：

クラリネット協奏曲 イ長調 K.622……〈樋口 杏奈〉

ベートーヴェン：

ピアノ協奏曲第4番 ト長調 Op.58……〈永田 美香子〉

グリーグ：

ピアノ協奏曲 イ短調 Op.16……〈石川 奈々歩〉

管弦楽／セントラル愛知交響楽団

お問い合わせ/
チケット取扱い

山田貞夫音楽財団事務局

☎ 052-533-6708

✉ zaidan@daido-net.co.jp

<https://www.daido-net.co.jp/foundation/>



指揮／松尾 葉子



SHIRAKAWA HALL

しらかわホール

〒460-0008 名古屋市中区栄2-9-15



〈交通のご案内〉

地下鉄東山線・鶴舞線 伏見駅から徒歩4分

主催



公益財団法人
山田貞夫音楽財団



松尾 葉子 Yoko Matsuo

指揮 *Conductor*

1982年フランスのブザンソン国際指揮者コンクールで女性として史上初、また日本人としては小澤征爾について二人目の優勝という壮挙により、一躍注目を集める。名古屋生まれ。

1981年国際ロータリー財団の奨学生としてフランスに留学、パリ・エコールノルマル音楽院指揮科でピエール・デルヴォー氏に師事。1983年『若い芽のコンサート』でNHK交響楽団を指揮。1984年二期会公演の『メリー・ウィドウ』を指揮してオペラデビュー。1999年セントラル愛知交響楽団の常任指揮者に就任。2001年ニューヨーク・カーネギーホールにてベートーヴェンの第九を指揮。2017年1月にはアムステルダム・コンセルトヘボウにて「ヴェルディ：レクイエム」を演奏し、好評を博す。平成28年度愛知県芸術文化選奨を受賞。

著書「指揮者にミューズが微笑んだ」(2003年論創社)、「指揮者、この瞬間」(2008年樹立社)がある。東京藝術大学指揮科教官を30年間務める。2015年～2020年まで愛知県立芸術大学客員教授。海外での活躍は1982年以来、ブザンソン交響楽団、パリ・ラムルー管弦楽団、ベルギー・ブリュッセルの放送オーケストラのコンサート、録音等を手掛ける。現在、セントラル愛知交響楽団特別客演指揮、トリフォニーホール・ジュニア・オーケストラ名誉指揮者。2022年から「超!有名曲シリーズ」のメイン指揮者に就任。

公式ホームページ <https://yoko-matsuo.com/>



樋口 杏奈 Anna Higuchi

クラリネット *Clarinet*

金城学院大学文学部音楽芸術学科卒業。愛知県立芸術大学大学院音楽研究科博士前期課程修了。第30回日本クラシック音楽コンクールクラリネット部門5位。第22回大阪国際音楽コンクール木管部門エスポアール賞。金城学院大学×セントラル愛知交響楽団ガラコンサートにコンチェルトのソリストとして3度出演。2021年公益財団法人山田貞夫音楽財団奨学生。第45回読売中部新人演奏会出演。2026年に名古屋市文化振興事業団の新規企画「Next Artist Nagoya」に参加。これまでにクラリネットを浅井崇子、ブルックス信雄トーン、箱崎由衣、瀬戸和夫、岡村理恵の各氏に師事。Nicolas Baldeyrouマスタークラスを受講。



永田 美香子 Mikako Nagata

ピアノ *Piano*

4歳からスズキメソッドでピアノを始める。名古屋市立菊里高校音楽科、東京藝術大学音楽学部卒業。卒業後フランスに留学し、パリ地方音楽院コンセルティスト課程で3年間学び、満場一致でディプロム取得。並行してパリ13区立音楽院伴奏科に所属。その後リヨンに拠点を移し、リヨン国立高等音楽院修士課程に首席で入学。パリ、リヨン、オバーニュにてプライベートコンサートをはじめ、コンサート・リサイタルに出演。オルガンにも興味を持ち、「セザール・フランク作品のピアノ演奏におけるオルガンの影響」について研究。学校外では2つのアマチュア合唱団の伴奏を務める。2025年修士課程を卒業し、同年秋に完全帰国。これまでにピアノを奥村美保子、佐野翠、西川秀人、坂井千春、Célimène Daudet、Laurent Cabasso、Hélène Bouchezの各氏に師事。



石川 奈々歩 Nanaho Ishikawa

ピアノ *Piano*

2014年故中村紘子氏推薦により水戸佐川文庫にてソロリサイタルを開催後、演奏活動を開始する。これまでにエビナル国際ピアノコンクール(フランス)第3位、松方ホール音楽奨励賞、フレチーラ＝ズロアガ記念国際ピアノコンクール(スペイン)セミファイナリスト、国際アイランドフェスティバルコンクール(シンガポール)ファイナリスト、全日本学生音楽コンクール高校の部東京大会第1位及び全国大会入選、同中学校の部名古屋大会第1位及び全国大会横浜市民賞、日本クラシック音楽コンクール全国大会第1位等に入選した他、JR東日本交響楽団、藝大フィルハーモニア管弦楽団、中部フィルハーモニー交響楽団、フランス国立メス管弦楽団等と共演。2022～2024年山田貞夫音楽財団奨学生、2025・2026年宗次エンジェル基金／公益社団法人日本演奏連盟 新進演奏家国内奨学金制度奨学生。東京藝術大学音楽学部附属音楽高等学校、同大学を経て、名古屋芸術大学大学院音楽研究科に全額特待生として入学し、理事長賞を得て首席修了。これまでにピアノを故栗原一身、服部浩美、黒岩航紀、上原彩子の各氏に、歌曲伴奏を丸山滋氏に師事。現在名古屋芸術大学芸術学部芸術学科ディプロマコースに在籍し、川田健太郎、横山幸雄の各氏に師事。今秋より渡独予定。

セントラル愛知交響楽団

1983年ナゴヤシティ管弦楽団として発足。岩倉市との音楽文化普及事業委託契約による事業補助を受け1997年に現名称に改名。2009年一般社団法人となり、2021年4月に愛知県より認定を受け公益社団法人となる。2023年創立40周年を迎えた。2024年4月から音楽監督に名古屋出身の角田銅亮が就任。名誉音楽監督にレオ・シュ・スワロフスキー、桂冠指揮者に小松長生、特別客演指揮者に松尾葉子、首席客演指揮者に齊藤一郎、正指揮者に古谷誠一を擁し活動を行う。2020年度より公益財団法人山田貞夫音楽財団指揮者オーディション最優秀者をアソシエイトコンダクター(任期2年)に迎えており、2025年度は、境田栄斗、松村詩史の両名が就任。定期演奏会、コンチェルトシリーズ、第九公演の他「超!有名曲」「Wコンチェルト」の各シリーズを自主公演として展開。バレエ、オペラ等の依頼公演にも数多く出演し、独自の構成によるプログラム、幅広いレパートリーを生かした学校公演、演奏者と聴衆の距離を縮めるような室内楽公演にも積極的に取り組んでいる。海外(2007年中国・2009年タイ・2017年韓国)でも公演し成功を収める。2015年半田市と音楽文化振興の協定、2019年一般財団法人稲沢市文化振興財団とも協定を締結。1996年「平成7年度愛知県芸術文化選奨文化賞」、2005年「平成16年度名古屋市芸術奨励賞」、2007年「第2回名古屋音楽ペンクラブ賞」受賞。